

元.11.1

生きかえつた秋の一日

平成元年記念 福祉のつどい

平成元年を記念しての「横芝町福祉のつどい」が、10月15日横芝中学校を会場として行われました。

この催しは、永年社会に貢献されたお年寄りをはじめ、からだの不自由な人や母子家庭など、福祉に関係する人をお招きし、日頃の苦労を忘れ、楽しい一日を過ごしていただこうと、町と社会福祉協議会が企画したものです。

演芸の部では、玉川カルテットの歌謡浪曲、内海桂子・好江ご両人の漫才、桂米丸さんの落語など、さすがの芸に会場は笑いのウズ。また、 笹みどり・横尾介さんの聞きほれるような歌声に、舞台と観客は一体となっていましたが、特に、 笹みどりさんのお得意の踊りを披露していただいたり、舞台から降りてのサービスには、観客の声援も一段と高まり、ショードは最高潮に達しました。また、演芸の合い間には

開演にあたり、佐瀬町長から「今日は、芸能界の第一線で活躍されているみなさんに来ていただきています。すべてを忘れ、楽しく、ゆかいにお過ごしください」とあいさつがありました。

演芸の部では、玉川カルテットの歌謡浪曲、内海桂子・好江ご両人の漫才、桂米丸さんの落語など、さすがの芸に会場は笑いのウズ。また、 笹みどり・横尾介さんの聞きほれるような歌声に、舞台と観客は一体となっていましたが、特に、 笹みどりさんのお得意の踊りを披露していただいたり、舞台から降りてのサービスには、観客の声援も一段と高まり、ショードは最高潮に達しました。また、演芸の合い間には

福引きの発表もあり、町からすばらしいプレゼントが贈られました。このほか屋外では、はじめて見る蒸気機関車（ミニSL）に、子どもたちは興味津々。何度も乗ろうとするちびっこたちで、ごった返していました。一方大人は、石炭のにおいがなかなかいいのか、昔を思い浮かべているようでした。また、フワフワベンギンのおなかの中では、愉快な愉快な笑い声。とんでもとんで、体はまるで宇宙船。ラッキーロープや輪投げなど、順番を待つ子どもたちの明るい声が終日秋空にこだましていました。

午後の部は、一般の人たちにも開放され、約2千人が、楽しい一日を過ごしました。



写真ですか、ポーズ！



もっと近くにきて／握手できるなんて最高



身なり手ぶりで笑いをさせそつて